プロになる!
業界に近づく3本の道

技術や知識を持った人材は強い。企業の採用における新卒重視の傾向も相変わらず強い。だが、専門的な職種の中には、専門の学校でカリキュラムを修めることで職業の入り口が近づくことがある。一度は別の職業に就いたものの、夢を再び追うことも可能かもしれない。ここでは昨年春に掲載した「職人になる！」に続き、各分野のプロへの近道となりそうな福岡県内の3校を紹介する。

研修科では学生の希望に沿った作物の栽培を年間を通して経験

農業の即戦力
福岡県農業大学校

近年人気が高い農業への転職を望む人には、福岡県農業大学校が希望をつないでくれるかもしれない。同校は福岡県の機関で、新規就農者や次代の農業の担い手を養成するため設立された。2年制の「養成科」は高卒後に進学する学生が多く、社会人経験者には1年制の「研修科」が受け皿となる。会社を辞めて入学する社会人経験者も多く、年齢層も20代から50代までと幅広い。

同校は福岡県筑紫野市の宝満山を間近に望む高台にある。隣接する福岡県農業総合試験場と連携し、152㌶におよぶ同試験場の敷地も活用して農業技術を学ぶ。教材費など一部を除いて授業料は無料。研修科ではイチゴやトマト、キュウリにアスパラガス、ホウレンソウなど、学生の希望に沿った作物の栽培を年間を通して経験する。

研修科は即戦力の育成を掲げており、年間1800時間のカリキュラムの8割を実習が占める。単に栽培技術を身につけるのではなく「独立して就農し、自立するための経営ノウハウも指導する」と福島裕助教授は説明する。1カ月間の農家での実地研修のほか、近隣の即売所での販売を通じて、流通や価格設定についても実践する。それが修了生の就農率100%という実績に結びついている。就農においては用地や就農先を探す支援をしてもらえるほか、公的助成も受けられる。

研修科の学生の半数は、実家が農家でUターンなどのために技術を学ぶ目的。ただ残りの半数は、これまで農業と関わりがなかった「非農家」という。上野浩教務部長によれば「入校希望者は増加傾向にある」という。2011年度までは研修科の定員は10人だったが、入校希望の増加に合わせて12年度から20人に倍増。それでも定員を超える入校の申し込みがある。少子化や農業離れを背景に農家は高齢化しており、過疎化に直面した自治体にとっても新たな就農者への期待は膨らんでいる。

夢をかなえようと再挑戦する人を応援する

空へ追い風
西日本アカデミー航空専門学校

西日本アカデミー航空専門学校（福岡市南区）は、九州で最も古い航空関連の専門学校だ。空の仕事に憧れる人は多いものの、就職は〝狭き門〟でもある。そのため夢を諦めて他業界に就職するケースも少なくない。一方であらためて夢をかなえようと再挑戦する人もいる。同校は実際の現場での実習を中心に航空業界と連携することで、そのようなニーズにも応えてたくさんの人材を輩出している。同校には2年課程の「CA（キャビンアテンダント）・グランドスタッフ」コースと、「グランドハンドリング」コースがある。CA・グランドスタッフコースは高卒後の入学生が8割。それ以外は20代であらためて航空業界に挑戦しようとする学生たちだ。

格安航空会社（LCC）の就航につれて、航空業界の求人数は増えている。一方でLCCは教育コストの低減のため、経験のある人材を採用する傾向にあるという。そのためにも専門学校でのカリキュラムを通じた、実践的な知識とスキルが求められる。

同校の校内実習では、航空機の本物の座席やカート、エプロンなどを使用。国際線の元客室乗務員の講師が実戦に即した授業で学生に指導する。また講師陣には航空会社の元職員のほか、日本航空のグループ企業から現役職員が出向し講師として在籍している。そのため業界のリアルタイムの情報を学べるという。

福岡空港での4カ月間のインターンシップ（就業体験）も大きな特徴。「業務上の知識を実地で学ぶだけでなく、新入社員としての立ち回り方を学ぶ」と小林俊也副校長は説明する。実際に利用客と接するため、怒られることや厳しい場面に出会うことも少なくない。

だが、空港勤務を終えた学生は、一様に航空業界への気持ちをより強くするという。「（特にグランドスタッフは）空港の顔になる。だが机上の勉強だけでは『顔』はつくれない」と、小林副校長は力を込める。

家業を継ぐ若者や、畳製造の分野に飛び込もうとする人が入校

和の伝統 受け継ぐ
福岡畳高等職業訓練校

福岡県春日市にある福岡畳高等職業訓練校は、京都府から西では唯一の畳製造の技能専門校だ。1972年に創立した福岡市内の畳業者の有志による訓練会が前身。同年に訓練校となり、後継者育成の役割を担ってきた。実家が畳店で家業を継ぐ若者や、畳製造の分野に飛び込もうとする希望者が入校する。

畳の専門校は減少しており、現在同校に在籍している訓練生は九州各地の出身者。訓練生は福岡県内の畳店に就職していることが入校資格としてあり、働きながら週に1度、訓練校に登校して講習を受ける。

1−2年目は実習と学科が半分ずつ。3年目になると毎週実習を受けて腕を磨き、1枚の畳を仕上げる技能を習得する。訓練校で学ぶのは、技能検定2級の取得に必要な手による伝統的な製造技術。現在は畳製造の多くが機械化されているため、訓練生は日常業務で実戦に近い技術を学び、訓練校で3年間の訓練期間を通して技能検定の合格を目指す。訓練生は1学年数人でアットホームな雰囲気もある。だが穏やかな中にも指導員の的確な指示が飛び、気を抜けない。

「訓練生は畳を縫う際に手のひらにつける、手当てと呼ぶ道具をつくることから始める」と、畳職人として55年間のキャリアを持つ同訓練校の馬渡嘉指導員は話す。「手当て」は畳の縁に使う布を金属板に巻き付けたもの。分厚い畳を縫うには長く太い針を使う。非常に力が必要なため、手当てで針の頭を押し込むように縫い進めなければならない。手当てを使ううちに金属に穴が空く。経験を積むと感覚で「穴が空きそうだ」とわかるという。

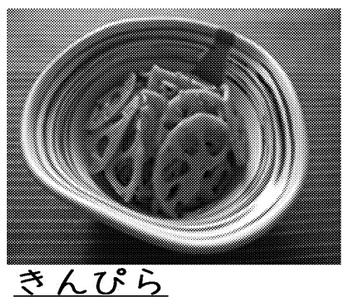
3年生は研修旅行でイグサ産地の熊本や畳生産が盛んな京都などを訪問。技術だけでなく畳文化も学ぶ。住宅事情の変化で和室が少なくなるなど、畳の需要は減少している。だが、モノづくりの技術は脈々と受け継がれている。

大月内科循環器内科
午前 9:00〜12:30(月〜土)／午後 14:00〜18:00(月〜金)／日・祝祭日・土曜午後 休診
循環器専門医として
・狭心症、心筋梗塞(虚血性心疾患)胸が痛い重い、締め付けられる、苦しい、などの症状。
・不整脈、ペースメーカ管理動悸、脈が乱れる気が遠くなるなどの症状。
・心不全、足が腫れる、体がきつい、息苦しいなどの症状。
・弁膜症、心筋症などの心疾患、高血圧 脂質異常症(悪玉コレステロールが高いなど) 糖尿病など。
内科医として
・気管支喘息、すぐに息が切れたり痰の多い 慢性閉塞性肺疾患や咳のみが続く咳喘息など 呼吸器疾患。 持続する咳の原因は呼吸器疾患以外にも種々ありますので受診をおすすめします。
・風邪、インフルエンザ、下痢症、頭痛、花粉症など内科一般。
・病状により漢方も積極的に用いています。速効性の漢方も少なくなく、風邪にも効果的です。のぼせなどの更年期障害にも効果あります。
健診　お問い合わせはお電話で承っております
・特定健診(よかドック、協会けんぽなど)、企業検診、よかドック30、一般健康診断
その他保険外診療
・予防接種、にんにく注射、プラセンタ注射
TEL092-282-0567　福岡市博多区古門戸町1-1 日刊工業新聞社西部支社ビル2F ★博多五町バス停前　★市営地下鉄中洲川端駅 徒歩5分
http://ohtsukinaika.net/

全ての病院の処方せん受け付けます。
yousay+do 裕生堂薬局
VISA MasterCard JCB
各種クレジットカード使用できます。
JAL CARD マイルが2倍たまる JALカード特約店
yousay+do　株式会社 裕生堂
福岡県下18店舗の調剤薬局　https://www.yuseido.co.jp/
総合戦略本部：福岡市中央区赤坂1-11-13 赤坂塚田ビル4F TEL 092-720-5111 Fax 092-720-5155

ニビシ
すき焼のたれ

肉の旨みを引き立てる
赤ワインを使用し、芳醇な
香りとコクある美味しさを
提供します。
醤油がらさを抑えたマイルドな
味わいに仕上げました。
いろいろな料理に使えます。

牛丼

きんぴら

肉巻きおにぎり

肉じゃが

照り焼き

筑前煮
ニビシ醤油株式会社　福岡県古賀市駅東3丁目2番1号　092-943-2231　http://www.nibishi.co.jp